

シングルログイン

共有デバイスのプロビジョニング、
パーソナライズおよびリセット

多くの組織が、特定のタスクを行うためのアプリケーションを複数のユーザーに提供するために、多機能のモバイルデバイスを必要としています。しかし、このことがITチームやエンドユーザーだけでなく、組織の運営にとって事を複雑にしているという現状があります。

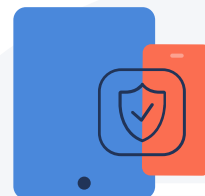
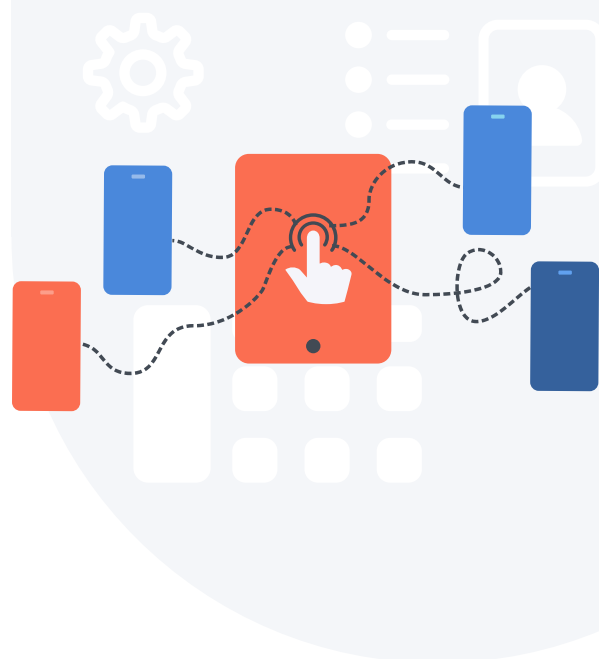
店員がカスタマーの対応をしている途中で、デバイスから強制ログアウトされてしまう様子を想像してみてください。デバイスにログインし直し、必要なアプリを探し、会計をやり直すということになれば、その店員だけでなくカスタマーにとっても大きなフラストレーションとなるのは容易に想像できます。

生産性を最大化するためにも、スタッフの交代時などに、ITの助けを借りずにデバイスを安全にプロビジョニングし直すことができるシンプルなワークフローが必要です。

共有デバイス環境に必要なもの

- ユーザーのアイデンティティと役割に応じたプロビジョニング
- 面倒なログインプロセスやパスワードの排除
- 従業員や顧客へのスムーズな体験の提供
- インベントリの追跡や管理
- ワークフローの効率化
- デバイスのダウンタイムの最小化
- デバイスの最大利用
- パーソナライズされたユーザーエクスペリエンス

こういった要件を満たす共有デバイス環境があれば、ITの負担も減り、すべてのデバイスとアプリケーションにおいて一貫したユーザーエクスペリエンスを提供することができます。また、スタッフの交代時にデバイスがカスタマイズされるのを待つ必要もありません。ユーザー自身が、自分に合った形で好きな時にプロビジョニングおよびカスタマイズすることができます。



Jamf SetupとJamf Resetによる「シングルログイン」のワークフローを採用することで、組織はiOSまたはiPadOSデバイスを共有する従業員の支援を強化することができます

エンドユーザ向けのワークフローを合理化

クラウドIDベースのネットワーク認証により、役割ベースのプロビジョニングとアクセス制御を行うことができます。共有デバイスにログインするだけで、各ユーザに適切な設定が適用されます。

管理とセキュアな運用の強化

デバイスやユーザの割り当てが可視化されるため、ITチームは必要な情報に簡単にアクセスすることができます。また、パスワードをシフトベースで確実に適用およびクリアする方法も提供します。

シングルサインオン(SSO)ですべてのアプリにアクセス

Jamf SetupとJamf Resetは、AppleのEnterprise SSOフレームワークを採用しており、Appleデバイス用のMicrosoft SSOプラグインの実装により、アプリケーションをまたいだSSOの使用に対応しています。

デバイス引渡しプロセスの簡素化

Jamf Resetを使ってワイヤレスでログアウトすると、デバイスを完全に消去することなく、認証情報と役割だけが消去されます。

シングルログインの仕組み

1.

Jamf Setupに一度ログインするだけで、Microsoft Entra ID (旧Azure Active Directory) のユーザアイデンティティと役割に応じたデバイスのプロビジョニング、割り当て、およびセキュアな運用が行われます。

2.

ログインは自動的に行われ、ユーザ名やパスワードを入力する必要はありません。ユーザは、組織独自のデザインの壁紙でカスタマイズされたホーム画面からデバイスの状態をすぐに確認できます。

3.

休憩時間やシフトの終了時には、Jamf Resetアプリから簡単にログアウトし、デバイスの使用履歴やアプリを削除することができます。

※ ここでご紹介したテクノロジーは現在パブリックプレビュー中です。サポートが必要となる問題やリスクが含まれる可能性があることをご了承ください。MicrosoftのプレビューテクノロジーはMicrosoftの利用規約に従うものとします。本番環境での利用はお控えください。



www.jamf.com/ja/

©2002-2023 Jamf, LLC. All rights reserved.

シングルログインの詳細については当社の公式サイトをご覧ください。

もしくは、Jamfの担当者または販売代理店にお問い合わせください。